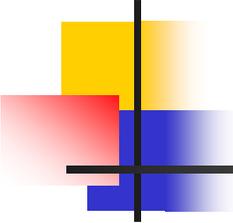


平成19年3月期
会社説明資料



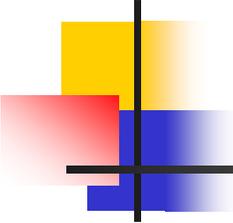
平成19年8月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



会社のプロフィール

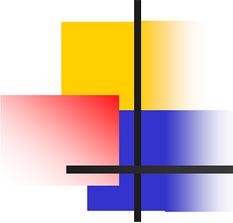
平成19年3月31日現在

- 商号 滝沢ハム株式会社
- 本店 栃木県栃木市泉川町556番地
- 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
- 設立 昭和25年12月
- 資本金 10億8,050万円
- 売上高 333億2,881万円（連結）
- 従業員 498名（連結）



会社の沿革

- 昭和25年12月 会社設立（株滝沢武商店） 本店東京都千代田区
- 昭和39年12月 宮城県仙台市に仙台工場を新設
- 昭和41年3月 商号を滝沢ハム株式会社に変更
- 昭和47年2月 栃木県栃木市に泉川工場を新設
- 昭和51年10月 オランダで開催の国際食肉ハムオリンピックで金メダル受賞
- 昭和58年5月 栃木本社事務所を栃木県栃木市祝町から栃木市泉川町に移転
- 昭和60年10月 栃木市に泉川ミートセンターを新設
- 昭和61年4月 栃木県宇都宮市に大谷天然熟成プラントを新設、イタリア式生ハムを製造開始
- 平成2年11月 日本証券業協会に店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
- 平成6年11月 栃木県栃木市に泉川物流センターを新設
- 平成11年10月 栃木県下都賀郡大平町にデリカ工場を新設
- 平成16年4月 宮城県角田市に仙南みらい工房ビッセン（仙南工場）を新設
- 平成17年1月 本店所在地を栃木県栃木市に移転
- 平成18年4月 栃木県栃木市に惣菜専門店レッケルバルト本店を新設
- 平成19年3月 栃木県西方町に惣菜専門工場「魁」を新設



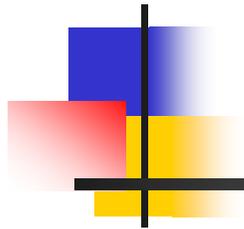
事業内容

- 当社グループは、食肉加工品（ハム・ソーセージ）、惣菜商品及び食肉製品の製造、販売を主な事業としております。

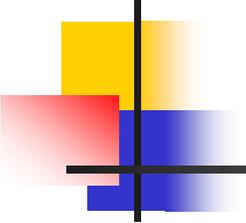
- 連結子会社

（会社名）	（資本金）	（事業内容）
株式会社テルマンフーズ	60百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
株式会社ワールドフードサービス	20百万円	飲食業
株式会社泉川運輸	20百万円	運送業
株式会社菖蒲フーズ	20百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
栃木シー・エス株式会社	10百万円	畜産物加工処理請負
六合ハム販売株式会社	10百万円	食肉加工品の販売
株式会社前日光都賀牧場	20百万円	畜産業

平成19年3月期 決算概要



滝沢ハム株式会社



平成19年3月期の総括

- 当連結会計年度は、ハム・ソーセージの主要原料であります輸入豚肉価格が高値で推移したことや原油価格高騰に伴う包装資材等のコスト増加要因が重なり、業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。
- 当社グループは、激しい販売競争に対応するため、生産部門は不採算商品の統廃合、増産のための生産のライン化、コスト削減を推進してまいりました。また、営業部門は平成18年9月に川崎営業所を厚木営業所に統合し販売の効率化を図りました。さらに、惣菜部門の販売の強化を図るため惣菜専門店アロマテーブル4店を開店しました。平成19年3月には栃木県上都賀郡西方町に惣菜商品の専門工場西方工場「魁」が完成し、4月から稼働しております。
- この結果、当連結会計年度の売上高は333億28百万円(前期比4.1%増)となりました。損益面につきましては、原料価格等のコスト増加要因を吸収するため、販売の効率化、製造コストの削減を図りましたが、営業利益は1億14百万円(前期比33.8%減)、経常利益は、43百万円(前期比66.1%減)、当期純損益は、固定資産の減損損失計上等の要因もあり、当期純損失2億円(前期22百万円の当期純利益)となりました。

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	19年3月期	18年3月期	前期比	備考
売上高	33,328	32,014	1,314	
売上原価	28,013	26,845	1,168	売上原価率0.2%アップ
販売費及び一般管理費	5,200	4,995	205	人件費+75百万円・販売手数料+74百万円 物流費+42百万円
営業利益	114	173	-59	
営業外収益	55	69	-14	
営業外費用	125	112	13	支払利息+13百万円
経常利益	43	129	-86	
特別利益	4	88	-84	
特別損失	159	64	95	減損損失+88百万円
当期純利益	-200	22	-222	

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	19年3月期	18年3月期	前期比	備考
流動資産	6,999	6,223	776	売掛金+423百万円 たな卸資産+275百万円
固定資産	7,533	7,049	484	建設仮勘定+844百万円 (西方工場建設)
資産合計	14,532	13,275	1,257	
流動負債	7,527	6,609	918	買掛金+449百万円・未払金+264百 万円・短期借入金+141百万円
固定負債	3,300	2,692	608	長期借入金+576百万円
負債合計	10,828	9,301	1,527	
資本金	1,080	1,080	0	
資本剰余金	824	765	59	
利益剰余金	1,702	1,933	-231	
資本合計	3,704	3,973	-269	

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)	19年3月期	18年3月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	286	355	-69	減価償却費276百万円、売上債権-351百万円 棚卸資産の増加-275百万円・その他資産の減少+ 392百万円・仕入債務の増加+155百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-979	-485	-494	有形固定資産の取得-1012百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	596	241	355	短期借入金の増加+200百万円 長期借入金の増加+880百万円 長期借入金の返済-362百万円
現金及び現金同等物の 増加額	-95	110	-205	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,186	1,075	111	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,090	1,186	-96	

部門別売上高

(単位:百万円)

事業部門	19年3月期		18年3月期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食肉加工品	11,406	34.2%	10,900	34.0%	506	4.7%
惣菜その他	4,498	13.5%	4,276	13.4%	222	5.2%
食肉	17,212	51.7%	16,619	51.9%	593	3.6%
その他	212	0.6%	219	0.7%	-7	-3.3%
合計	33,328	100.0%	32,014	100.0%	1,314	4.1%

食肉加工品

ローストビーフ・生ハムの売上高増加

惣菜その他

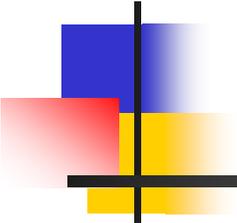
味噌漬け商品、豚カツ・ミートボール等の売上高減少

食肉

国産ブランド豚の販売強化により増加

その他

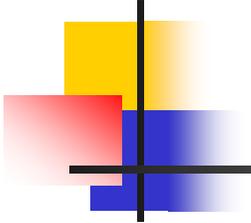
運送事業の売上高減少



平成20年3月期 業績予想



滝沢ハム株式会社



平成20年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)

	20年3月期予想	19年3月期実績	増減	備考
売上高	35,200	33,328	1,872	
経常利益	310	43	267	
当期純利益	230	-200	430	
EPS(円)	22.39	-19.69	42.08	
ROE(%)	5.9	0.6	5.3	

EPS=1株当たり当期純利益

ROE=株主資本利益率

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

経営方針と今後の取り組み

経営方針

「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する。」を経営理念としております。お客様に対し、安全、安心で、よりおいしい商品を常に提供し続けてまいります。

今期の取り組み

1. 品質管理体制の強化
(製造設備の見直し、衛生教育の強化、生産技術の向上)
2. 営業拠点、物流拠点の見直しによる販売部門の効率化
3. 不採算商品の統廃合、生産のライン化によるコスト削減
4. 産地牛、ブランド牛の販売強化
5. 西方工場の稼働率アップにより惣菜部門の売上増

新商品発売のご案内

(平成18年度)

生ハム切落し



! あらびきウインナー



! あらびきウインナー(ホワイト)



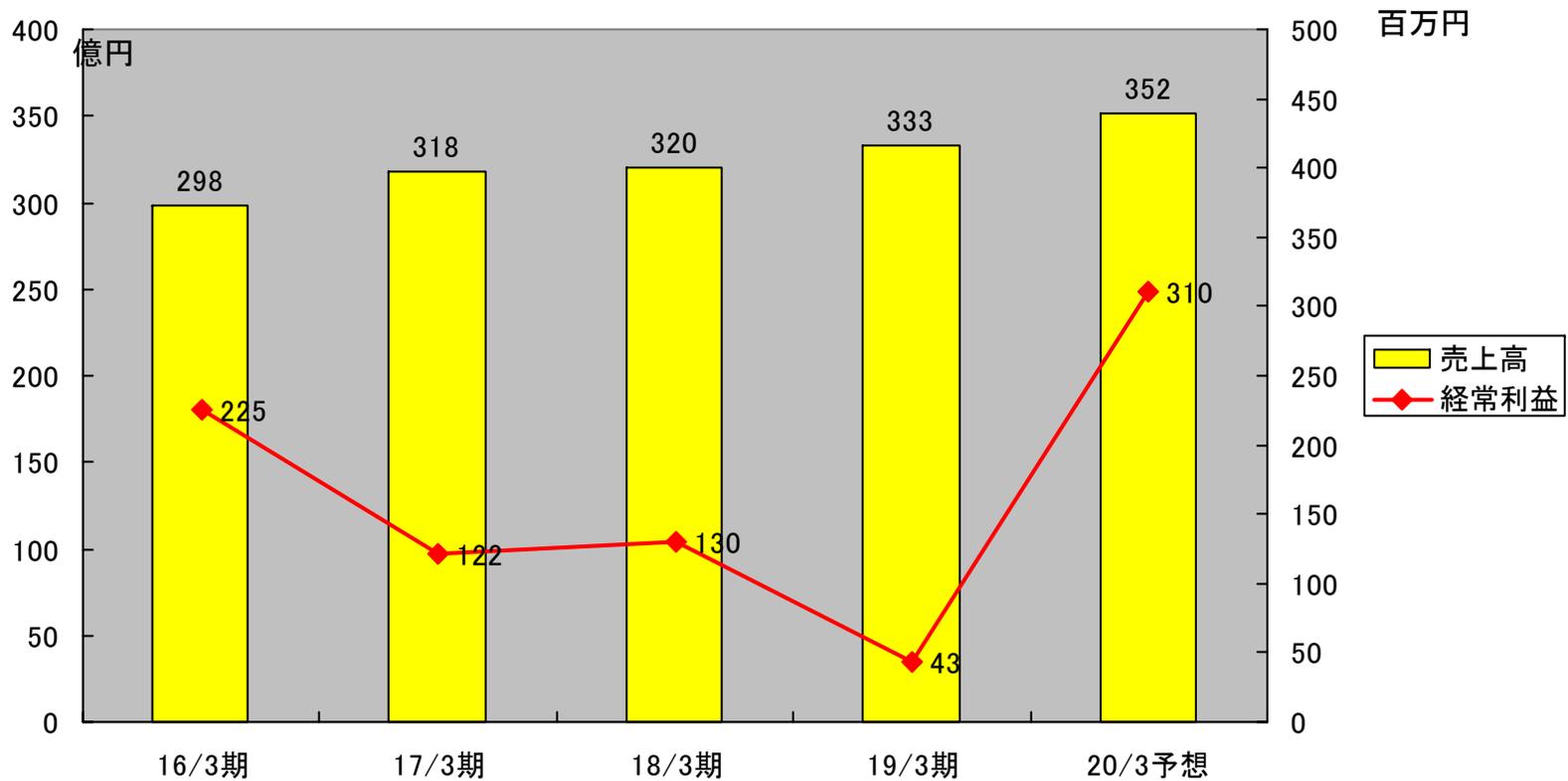
ペッパーローフ

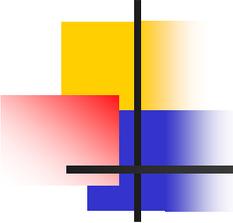


チーズローフ



売上高、経常利益の推移(連結)





本資料に関するお問い合わせ

- 滝沢ハム株式会社
- 経営企画室
- TEL : 0282-23-5640
- E-mail: tk4903@takizawaham.co.jp